

外国人技能実習生の安全・健康の確保

～ 農業における外国人技能実習制度の適正な運用のために～

筑西労働基準監督署 安全衛生課

茨城労働局管内の農業に従事する外国人技能実習生の人数は、全国で最も多い状況です。当署管内過去5年間の農業に従事する外国人技能実習生の休業4日以上労働災害は、茨城労働局管内8箇所の労働基準監督署の中で最も多く発生している状況にあることから、外国人技能実習生受入農家の皆様におかれましては、今後、農業に従事する外国人技能実習生の労働災害防止のため、労働安全衛生法等の関係法令を遵守することは基より、下記の主な災害事例を参考に、事業主として適正な安全衛生管理を推進することが求められるほか、「外国人労働者の雇用管理の改善等に関して事業主が適切に対処するための指針」（「安全衛生の確保」部分抜粋を裏面に記載）に基づき、外国人技能実習制度を適正に運用してください。

なお、筑西労働基準監督署は、外国人技能実習機構と連携し、外国人技能実習生に係る労働災害防止の取組を強化推進しています。

農業に従事する外国人技能実習生に係る主な災害事例

レタス、白菜、キャベツ及びチンゲン菜等の農作物を、包丁等の刃物を使用して収穫しているとき、力余って腕若しくは指等を切る。

軽トラックの荷台上の積荷を押さえるため、走行している軽トラックの荷台上に乗っていたところ、誤って荷台から墜落する。

走行しているフォークリフトのフォーク上の積荷を、手で押さえながらフォークリフトと並走していたところ、フォークリフトに接触する。

トラック荷台上に収穫した農作物の積み込みを終えた後、荷台から飛び降りたところ負傷する。

倉庫内の収納スペースを確保する作業において、動いているフォークリフトに接触する。

堆肥を作るため、農耕用具であるフォークを用いて落ち葉を混ぜていたところ、誤って自身の足を刺す。

ビニールハウスのビニールを張り替える作業のため、骨組の上に乗っていたところ、誤って地面に墜落する。

収穫した農作物が入った段ボールを、両手でかかえて運んでいたところ、地面に躓いて転倒する。

ホイールローダーのバケットに農作物を乗せていたところ、ホイールローダー運転者が操作を誤り、実習生の足にバケットを下ろしてしまう。

農作物の入った段ボールを、手作業で継続的にパレット上に移す作業に従事したことによって、腰部を痛める。

外国人技能実習生の安全衛生を確保するための事項

(外国人労働者の雇用管理の改善等に関して事業主が適切に対処するための指針(抜粋))

1 安全衛生教育の実施

事業主は、外国人労働者に対し安全衛生教育を実施するに当たっては、当該外国人労働者がその内容を理解できる方法により行うこと。特に、外国人労働者に使用させる機械設備、安全装置又は保護具の使用方法等が確実に理解されるよう留意すること。

2 労働災害防止のための日本語教育等の実施

事業主は、外国人労働者が労働災害防止のための指示等を理解することができるようにするため、必要な日本語及び基本的な合図等を習得させるよう努めること。

3 労働災害防止に関する標識、掲示等

事業主は、事業場内における労働災害防止に関する標識、掲示等について、図解等の方法を用いる等、外国人労働者がその内容を理解できる方法により行うよう努めること。

4 健康診断の実施等

事業主は、労働安全衛生法等の定めるところにより外国人労働者に対して健康診断を実施すること。その実施に当たっては、健康診断の目的・内容を当該外国人労働者が理解できる方法により説明するよう努めること。また、外国人労働者に対し健康診断の結果に基づく事後措置を実施するときは、健康診断の結果並びに事後措置の必要性及び内容を当該外国人労働者が理解できる方法により説明するよう努めること。

5 健康指導及び健康相談の実施

事業主は、産業医、衛生管理者等を活用して外国人労働者に対して健康指導及び健康相談を行うよう努めること。

6 労働安全衛生法等関係法令の周知

事業主は、労働安全衛生法等関係法令の定めるところによりその内容についてその周知を行うこと。その際には、分かりやすい説明書を用いる等外国人労働者の理解を促進するため必要な配慮をするよう努めること。

外国人技能実習生に係る健康確保については、県西地域産業保健センターを活用願います。

健康管理

健診結果についての医師からの意見聴取

長時間労働者に対する面接指導

個別訪問による産業保健指導等

無料で活用できます。

筑西市二木成 8 2 7 - 1 真壁医師会館内 (電話: 0 2 9 6 - 2 5 - 3 3 3 4)